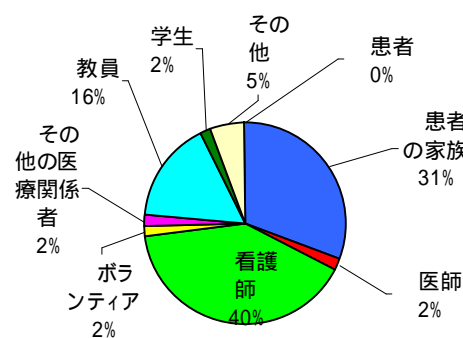


参加者

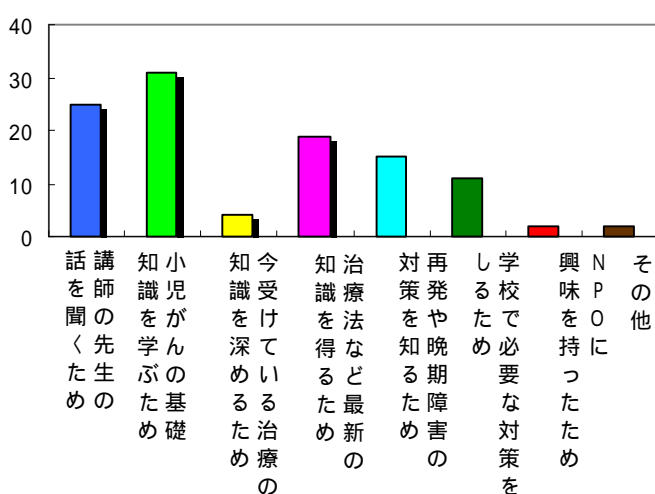
小児がん医療学習 in 東京には青森、名古屋からの参加者を含め計 84 名の方にご参加いただきました。参加者の方は看護師(40%)、患者家族(30%)、教員(17%)の方を始め、医師、臨床心理士、学生とさまざまな方にご参加いただきました。



Q1、この集中講座を、なんで知りましたか？

本講座を知ったきっかけが多かった順に、「病院でパンフレットを見て」30%、「知人から聞いて」17%、「医師から知らせてもらった」13%となっています。

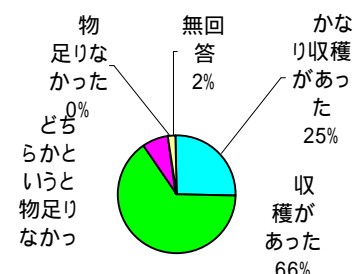
Q2、どのようなことを期待されて参加されましたか？(複数回答可)



本講座に期待するものとして最も大きかったものは「小児がんに関する基本的知識を学びたくて参加した(回答数 31)」でした。その他、「知人から聞いて(回答数 21)」、「治療方法などの最新の情報を得るために参加した(回答数 19)」、「再発や晩期障害への対応策などを知っておきたい(回答数 15)」、「学校での配慮事項などを知っておきたい(回答数 11)」に多く意見が寄せられました。

Q3、実際に受講し、期待された事柄に対して収穫がありましたか？

多くの参加者の方が「収穫があった(かなり収穫があった 25%、収穫があった 66%)」と感じて下さいました。



Q4、今後もこのような医療学習講座が開催されれば参加したいと思われませんか？

多くの参加者の方から、「参加したい(49%)」、「内容によっては参加を検討したい(47%)」との回答を頂きました。

また、「化学療法中の副作用の改善、予防など」「再発の予防策について」等のトピックについて関心が寄せられていることがわかりました。

Q5、ご意見などございましたらお書きください

今回のフォーラムに関して、参加の皆様から自由に記述していただきました。「外来の短時間の中ではなかなか聞くことが出来ないことなど、まとめて聞くことができ参考になった」、「いろいろな先生の意見を聞くことは治療の選択肢を選ぶうえで重要だと感じた」等のご意見を頂きました。

また、「もう少し時間が長くてよかった」、「もう少しゆっくりしていただければ、さらに満足できたように思う」との意見も頂きました、今後の参考にしていきたいと考えています。